

# 小野市議会だより

Ono city assembly



## 第386回 6月定例会

### 一般質問

- |            |             |
|------------|-------------|
| いの うえ ひ よし | かわ な よし ぞう  |
| ・ 井上日吉     | ・ 川名善三      |
| ふじ わら あきら  | たけ うち おさむ   |
| ・ 藤原章      | ・ 竹内修       |
| こばやし ちづ こ  | たか さか じゅん こ |
| ・ 小林千津子    | ・ 高坂純子      |
| まえ だ みつ のり | やま なか おさ み  |
| ・ 前田光教     | ・ 山中修己      |

議会傍聴

6月定例会 71人  
[25年度累計 71人]

## 6月定例会—主な内容—

こんなことが決まりました	2～3
小野東小学校体育館改築工事の概要	3
6月定例会一般質問発言者	4
一般質問の内容について	5～8
常任委員会審査報告等	9
会派行政視察報告	10
9月定例会傍聴案内	11
議会の動き等	12



6月  
定例会

# 「こんなことが決まりました。」

6月定例会は、5月31日から6月27日まで28日間開催しました。  
補正予算及び人事案件などを含む議案6件を原案のとおり、可決・同意しました。

## 主な議案

### 小野市道路線の認定について

市道4458号線 L1268.0m 市場町  
北播磨総合医療センターの建設に伴い、新都市中央線から同センターへのアクセス道路を新規認定するもの。

### 小野市道路線の変更について

市道4350号線 L1139.30m 市場町  
新都市中央線に接続するため起点を変更するもの。

### 小野市公平委員会委員の選任について

平成25年7月21日で任期満了する油井五郎氏の後任として、進藤繁輝氏を公平委員会委員に選任するため、地方公務員法第9条の2第2項の規定により、議会の同意を求めるもの。

丸山町 進藤繁輝氏（新任）

### 市立小野東小学校体育館改築工事請負契約について

契約の相手方  
加古川市野口町良野1506番地  
前川建設株式会社  
代表取締役 前川 容洋  
契約金額 2億7,982万5,000円

## 補正予算関係議案

### 平成25年度小野市一般会計補正予算(第1号)

補正額 777,000千円 追加  
補正後総額 20,597,000千円

### 平成25年度小野市病院事業会計補正予算(第1号)

資本的収入  
補正額 700,000千円 追加  
補正後総額 783,200千円  
資本的支出  
補正額 1,228,521千円 追加  
補正後総額 1,447,321千円

## 平成25年度 一般会計6月補正予算概要

今回の補正予算では、風疹への緊急対策として予防接種費用の助成経費や、浄谷黒川丘陵地の利活用構想策定経費、市民病院債の繰上償還に係る貸付を予算化しています。

このほかに、障がい児タイムケア事業所の開設支援や、白雲谷温泉ゆびかの昨年度黒字額の積立経費、コミュニティバス等の総合時刻表作成に対する補助金を措置しています。

(単位:千円)

	内 容	担当課	補正額	補正後
新規	<b>浄谷黒川丘陵地整備事業</b> 浄谷黒川丘陵地の土地利用構想を策定するための基本設計、環境調査等に係る経費	総合政策部	21,800	21,800
追加	<b>公共交通活性化事業経費</b> 小野市地域公共交通会議における総合時刻表作成に対する補助	総合政策部	400	4,400
追加	<b>地域生活支援事業等経費</b> 障がい児タイムケア事業所への開設補助等	社会福祉課	8,800	69,495
新規	<b>風疹予防接種緊急対策経費</b> 風疹による妊婦・胎児への健康被害を未然に防止するため、緊急的に成人の予防接種費用を助成	健康課	25,000	25,000
追加	<b>企業債償還元利負担金等</b> 市民病院債の繰上償還に係る財源貸付	財政課	700,000	791,851
追加	<b>白雲谷温泉運営管理基金積立金</b> 白雲谷温泉ゆびかの黒字決算確定に伴う基金積立	観光課	21,000	23,300

補正総額 777,000千円

一般会計補正予算の主な内容

## 市立小野東小学校体育館改築工事の概要

- ・ 構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建て
- ・ 整備面積 約1,250㎡
- ・ 整備内容 1階：アリーナ（バレーボールコート2面、バドミントンコート3面の面積有）  
ステージ、トイレ(多目的トイレあり)、倉庫等  
2階：軽運動室、会議室（空調設備あり）、管理通路
- ・ 完成予定 平成26年3月





(修学旅行 エイサー体験)

(一般質問は発言した議員が編集しました)

# 平成25年 6月定例会

市議会HP内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

## 一般質問発言者

### 井上日吉議員

- ・ 自立型職員の育成について
- ・ 安全、安心のまちづくりについて
- ・ 生活保護及び児童扶養手当受給者の就労について

### 川名善三議員

- ・ 障害者雇用の拡大について
- ・ 障害者優先調達推進法の施行について
- ・ 転校生への対応について

### 藤原章議員

- ・ 議案第33号小野市一般会計補正予算  
浄谷黒川丘陵地整備事業について
- ・ 公共工事の労務賃金について
- ・ 生活保護行政について
- ・ 小野市福祉給付制度適正化条例について

### 竹内修議員

- ・ 議案第33号 平成25年度小野市一般会計補正  
予算(第1号)について

### 小林千津子議員

- ・ 女性の社会進出について
- ・ 地域の交流施設について
- ・ 議案第33号小野市一般会計補正予算  
浄谷黒川丘陵地整備事業について

### 高坂純子議員

- ・ 小野市地域公共交通総合連携計画について
- ・ 「コミセンの寺子屋」事業の今後の展開について
- ・ 風疹予防接種への助成事業について

### 前田光教議員

- ・ 40周年を迎えた姉妹都市交流(提携)について
- ・ 市民病院運営と閉鎖に向けた取組について
- ・ 少子化に対応した子育て支援施策について

### 山中修己議員

- ・ おの桜づつみ回廊の更なるバージョンアップについて
- ・ 白雲谷温泉ゆびか整備事業について
- ・ 小野市福祉給付制度適正化条例成立後の状況について
- ・ 「小野市職員給与削減せず」の公表について



改革クラブ

井上日吉議員

### 自立型職員の育成について

**質問** 自立型人材育成の基本条件

**答弁** 豊かな感性を持ち、高い専門知識や、企画立案能力を備え、市民の目線に立った行政サービスが提供できる職員を育てることである。

(市当局)

**質問** 小野市の目指す職員像

**答弁** 組織方針を意識し、「行政のプロ」として、物事に主体的に取り組む資質、高い専門能力、業務遂行の中から課題を見つけ、市民目線で問題の解決に向けて行動ができる職員である。

(市当局)

**質問** 職員に求められる基本的能力

**答弁** 主務級以下の職員は上司の指示に従い、固定観念にとらわれずに新たな視点、発想で職場の活性化を図り、公平、公正、正確、迅速に事務を行う能力が求められる。

(市当局)

### 安全、安心のまちづくりについて

**質問** 安全、安心の活動と内容について

**答弁** 安全安心パトロールは、現在、8台、15名体制で、内1台は夜間9時30分までの夜間パトロールを実施し、市内を7地区に分けて活動をしています。

(市当局)

**質問** 防犯灯の設置状況、今後の整備計画について

**答弁** 防犯灯の設置状況は本年3月末現在で、町管理分(2,031灯)市管理分(248灯)合計(2,279灯)を設置しています。昨年度は、自治会からの申請で、48灯を設置、本年度は7灯の申請があり、設置を進めています。

(市当局)

**再々質問** 防犯灯の設置促進について

**答弁** 現在ある防犯灯を倍増(5,000灯)までにする新規事業を来年度予算案として提出し、議会の承認を得て街全体を明るくしていく。また設置費用、維持費は市側の負担とする。

(市長)



公明党

川名善三議員

### 障害者雇用の拡大について

**質問** 官公庁における法定雇用率が23%、教育委員会等22%となったが、小野市の現状について

**答弁** 市長部局においては平成25年6月1日現在で7人、雇用率は259%、又教育委員会においても現在1人、雇用率は231%で法定雇用率を満たしている。

(市当局)

### 障害者優先調達推進法の施行について

**質問** 法律では調達指針の策定が求められているが、小野市の対応について

**答弁** 市では調達方針策定に係る第1段階として、市内の就労移行支援(小野起生園)、就学継続支援A型(小野福祉工場、ワークセンターすみれ)、就労継続支援B型(小野福祉工場、ひまわり園)、生活介護(小

野起生園、ひまわり園、こすもすの里)を行う施設に対し、当該施設が供給可能な物品等の調査を実施し、その実態を取りまとめたところである。今後は供給できる物品等の内容や特性を踏まえつつ、諸課題の整理と調整に取組み早期に実効性のある調達指針を策定し、計画的な調達を実施したい。

(市当局)

### 転校生への対応について

**質問** 転校生への指導方針について

**答弁** 転校生への支援方針として、生活面では新たな学校、級友などに上手に順応できるよう担任教諭を中心に全職員が日常会話を重視し、生活ノートなどを活用して生活状況をきめ細かく把握するよう努め、必要に応じ三者面談などを随時実施している。学習面では地域によって学習の進度は多少前後する場合がありますので、転入時に進度を直接確認し、放課後の個別指導、夏休みや冬休みでの補習などに努めている。

(市当局)



日本共産党  
藤原 章 議員

生活保護行政について

**質問** 8月から引き下げられる生活保護基準の見直しについて、小野市の受給者はどうなるのか。

**答弁** 見直しが完了する3年後と比較すると、増加が17%、1%以内の減少が8%、3%以内の減少が63%、5%以内の減少が5%、5%以上の減少が7%となります。(市当局)

小野市福祉給付制度適正化条例について

**質問** 本条例制定以後届けられた自由法曹団と全国青年司法書士協議会の「廃止・撤廃を求める」意見書の中には「違法な「指導又は指示」がなされない教育・指導」「申請をためらうことのない対応・配慮」「丁寧な生活指導、医師等による治療の方策」「ケースワークの充実」等のご意見があるが、どう思うか。

**答弁** 提起されているご意見に関しては、その多くを既に実施しており、「ケースワークの充実」については、今後とも努力したい。(市当局)

議案第33号 平成25年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

**質問** 安全対策費400千円の具体的内容について

**答弁** 本年度、国において、新たに「地域協働推進事業費補助金制度」が追加されました。これは持続可能な地域の公共交通ネットワークの構築を、地域と協働で行う利用促進などの取り組みに対し、事業費の二分の一を国から各地域の公共交通に関する協議会へ助成される制度です。北播磨総合医療センターの開院などに伴い、全戸配布する『らんらんバス』の新たな時刻表の作成費の半額を市の補助金として協議会へ交付するものです。(市当局)

**質問** 障害福祉費8,800千円の具体的内容について

**答弁** この補正予算は、障がい者を有



公明党  
竹内 修 議員

される児童を対象としたタイムケア事業の利用者が、当初予定していた人を大きく上回る事となったため、所要見込み額の増額補正をお願いするものです。

この事業は、小学生から高校生までの障がい児を対象に、下校後や夏休み等の長期休暇時における活動の場を確保し、障がい児の保護者の就業支援とともに、障がい児を日常的にケアされている家族の一時的な休養を目的として実施するものです。

平成24年度までは、小野市起生園において利用者10人程度で事業を実施していましたが、新たに6人の方から事業の利用希望があり、神戸電鉄株式会社事業所開設を打診、小野駅舎の空きスペースを利用して実施することとなりました。

改修工事等の補助金として200万円、扶助費として680万円を補正。扶助費については、4分の3が国、県の補助対象となります。

(市当局)

浄谷黒川丘陵地整備事業について

**質問** 今回策定する利活用構想は地域全体なのか、あるいは地域の一部に係わるものなのか。また、どの程度の内容と具体性を持った構想とするのか。

**答弁** 区域全体について、土地利用の基本的な考え方、利用形態別のゾーニング、整備または誘致する施設の種別などを検討したい。(市当局)

公共工事の労務賃金について

**質問** 国土交通省は「公共工事設計労務単価」を全国平均で15.1%引き上げたが、小野市は「新労務単価」の適用についてどう対処しているのか。

**答弁** 「新労務単価」を適用し、適切に運用しています。(市当局)



市民クラブ

小林千津子 議員

### 女性の社会進出について

**質問** 自治会役員女性参画推進事業補助金の趣旨と内容。現時点での取組状況について

**答弁** 市民の一番身近な組織である自治会への女性の参画が、防災、減災、高齢者対策など、これからの時代に即した地域の再構築に必要です。女性ならではの発想は、「住んでよかった」と思える町づくりのため自治会改革を後押しするものです。自治会役員に、2名以上の女性を継続的に登用し、意思決定の場に参画できることを要件に、年額10万円、三役に就いた場合は更に10万円加算の補助金を3年の期限付で支給します。現時点では、5自治会が申請されています。申請に向け意欲的に検討されている自治会があります。身近な自治会役員を男女が共に担っていくことで、男女共同参画意識が地域に広がり、少しずつ審議会や団体のトップ

に女性が選任されるきっかけづくりに成ることを期待します。(市当局)

### 地域の交流施設について

**質問** コミレスと地域の連携及び小野市の観光戦略として果たす役割について

**答弁** 市内のコミレスは、地域住民が地域の活性化や地元農産物の地産地消を目的に立ち上げた組織です。各コミレスでは、地域の団体等との連携が円滑に図られたうえで、周辺地域の観光資源とのコラボレーションによる観光戦略を展開されています。「誉田の館いろどり」は、東条川や小田城跡を見下ろす絶好のロケーションであることから小野市の新たな観光資源に成りうると考えています。(市当局)

コミレスは、地域住民のコミュニティの場であり、防災、減災、地域の福祉の場である。地域の方々に喜んで頂ける居場所づくりに努めていただきます。(市長)



市民クラブ

高坂純子 議員

### 小野市地域公共交通総合連携計画について

**質問** らんらんバスの10月ダイヤ改正に伴い、市内全域から北播磨総合医療センターへの接続について問う。

**答弁** 市民の皆様が利用しやすいよう、これまでの10ルート全てについて北播磨総合医療センターを経由させる方向で検討している。(市当局)

**質問** 北播磨総合医療センター企業団では神鉄榎山駅、JR市場駅を結びシャトルバスの運行が予定されている。神鉄小野駅にも停車出来ないか、企業長でもある市長の考えを問う。

**答弁** 小野駅と榎山駅間は近いこともあるので難しいが議論はしたい。(市長)

**質問** らんらんバスを利用したいがバス停まで遠い、狭くてバスが入れない等の声がある。民間業者との兼ね合いもあるが、小型デマンドバスを走行させるのも一案と考えるが。

**答弁** 市内でも地域間格差がある。どうあるべきか、前向きに検討したい。(市長)

### 「コミセンの寺子屋」事業の今後の展開について

**質問** 地域の公民館を活用して寺子屋事業を行ってはどうか。

**答弁** やがて、市内各地で開設されることを想定したうえで、先行モデル事業として地域の皆様とともに注力している。(市当局)

### 風疹予防接種への助成事業について

**質問** 現在の助成対象者を妊婦の同居の家族とし、年齢制限も妊娠を望む女性へと広げてはどうか。

**答弁** 県や他市に先駆けて実施したため対象者に少し相違があった。広報7月号に対象者の拡大の改正内容を掲載する。(市長)



市民クラブ

前田 光 教 議 員

**40周年を迎えた姉妹都市交流  
(提携)について**

**質問** 小野市からの訪問団受入れ、リンゼイ市からの訪問団受入れ、今後の取組について問う。

**答弁** 4月訪問時にはアメリカンスタイルでの歓迎を受け、「小野市公園通り」命名式に参加をした。本年の小野まつり時期に合わせ10名の訪問団を受入れ、小野まつり舞台上で協定書調印式を行う。今後、NPO法人小野市国際交流協会が中心となり、民と民による交流を図っていきたい。(市当局・市長)

**市民病院運営と閉鎖に向けた  
取組みについて**

**質問** 未収金徴収、売却不動産以外の固定資産処置、運営統括本部について問う。

**答弁** 未収金徴収計画を立て、組織として全力で徴収業務を実行する。

医師・看護師公舎は10月1日付で普通財産に切換え、以降処分方法を検討する。運営統括本部は、収益の確保、市民の不安の解消、新病院への円滑な移行を担い、メデイカルコンシエルジュの配置等、職員一丸となつて取り組みを行っている。(市当局)

**少子化に対応した子育て支援  
施策について**

**質問** 小野市の保育園が担う役割、保育料について問う。

**答弁** 小野市は幼稚園が2園という事もあり、就学前教育を期待されている特色がある。現在、国基準から算出できる保育料を約20%程度市が負担しているが、更なる軽減に向け、組織改革を前提とし、平成26年4月からどの程度の補助率が望ましいか真剣に考える。大いなる話し合いが必要である。(市当局・市長)



市民クラブ

山中 修 己 議 員

**「小野市職員給与削減せず」の  
公表について**

**質問** 5月10日臨時議会での公表についての趣旨を問う。

**答弁** 行財政改革、人件費削減に関しては、国から言われるまでもなく、「行政もまさに経営」との考えの下、組織として総人件費削減に取り組んできました。結果、小野市職員数は10万人未満の市では県内最少となつており、理屈にあわない各種手当をほぼ全廃し、地域手当、職員互助会への支出も全廃しました。結果総人件費は年6億円の減となっております。

この度の国の要請は地方分権の流れに反し、自治体の自主性を阻害するものです。仕事の質を落さず、自治体運営を行うため、公務員の人件費はどうかあるべきかが、本来議論されるべきです。今回の決断は小野らしさをもった政策を実行するための

表われであり、「更なる成果」への決意であると理解していただきたいと思えます。(市長)

**小野市福祉給付制度適正化条例  
成立後の状況について**

**答弁** 生活保護等の動向、情報提供の状況を整理・分析した後、適正化協議会を立ち上げます。推進員はその協議会の中で検討いただくこととしており、今年度末までに決定します。(市当局)

**おの桜づつみ回廊の更なる  
バージョンアップについて**

**答弁** 「西日本最大級の桜づつみ回廊」は、小野市が誇る素晴らしい観光資源となりつつある。堤防であることから、安全面を第一に考慮し、地元と連携してライトアップ等、観光施策を検討していきます。(市当局)



## 《常任委員会に付託された議案》

### ◎総務文教常任委員会◎

議案第33号 平成25年度小野市一般会計補正予算(第1号)  
議案第38号 市立小野東小学校体育館改築工事請負契約について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



### ◎民生地域常任委員会◎

議案第33号 平成25年度小野市一般会計補正予算(第1号)  
議案第34号 平成25年度小野市病院事業会計補正予算(第1号)  
議案第35号 小野市道路線の認定について  
議案第36号 小野市道路線の変更について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



6月定例会の提出議案について、常任委員会に審査を付託されたのは、議案第33号から議案第36号及び議案第38号の5議案で、3月25日に総務文教及び民生地域の各常任委員会をそれぞれ開催しました。各常任委員会に審査を付託された議案及び審査結果は次のとおりです。

# 常任委員会審査報告

## 常任委員会研修会を開催しました

市議会では、議員の資質及び議会としての監視機能の向上を図るため、常任委員会等の研修に継続して取り組んでいます。

今回は、7月に実施する各常任委員会の行政視察の事前研修として、市関係部局の担当職員から市の各施策の現状等について説明及び質疑を行い、理解を深めました。

### 《民生地域常任委員会》

- 1 開催日 7月9日(火)
- 2 研修事項  
(1) 介護予防事業及び健康教室について  
(2) 中心市街地まちづくりについて

### 《総務文教常任委員会》

- 1 開催日 7月19日(金)
- 2 研修事項  
(1) 学校給食センターの現状等について



# 会派行政視察報告書（市民クラブ）

山本悟朗 前田光教 高坂純子 小林千津子 岡嶋正昭 藤本修造 山中修己

## (1) 7月1日(月) 茨城県つくば市「教育日本一への取組について」

(小中一貫教育・ICT機器整備の推進) [人口約21万6千人・面積284km<sup>2</sup>]



**<視察の内容と特色>** つくば市は、筑波大学、茨城県と共同で「つくば国際戦略総合特区」を取得し、また、インテル株式会社との共同で「教育日本一つくば」事業を展開しています。その原動力は「ICT教育」と、小中学校の交流や学校間共同学習にICTを活用した「小中一貫教育」であります。特色として「つくばスタイル科」を設け、テレビ会議や電子黒板とスタディーノートを使い、生徒が学習してきた事をまとめ、プレゼンテーションを行う等の取組がなされています。

**<所感>** つくば市の小中一貫教育は、施設も含め本年4月に始まり、保護者や生徒の満足度、学力レベルの変化など、

今後の動向に注目したいと思います。小野市でも小中一貫教育の取組がなされており、将来的には施設も含め小中一貫校の存在も具現化される事もあると感じています。

また、ICT教育によるプレゼンテーションでは、単なる発表ではなく、自分で課題を見付け、思考し創造したものを発信する21世紀型の大切なスキルとして、小野市においても益々の取り組みにより人材育成を推進する事を期待するところです。

## (2) 7月2日(火) 埼玉県和光市「介護予防事業の取組について」

(介護認定率の低さ日本一) [人口約7万6千人・面積11km<sup>2</sup>]

**<視察の内容と特色>** 和光市は2001年から全国に先駆けてモデル的に介護予防や地域包括ケアを進めており、結果、要介護認定率の低下や介護保険料の軽減等、成果が数字となって表れています。マクロの政策決定からミクロのケアマネジメントの実際までを一元化したシステムとして構築し、介護予防や地域包括ケアを推進する和光市の取組を学びました。

**<所感>** 高齢化社会における介護は必要不可欠なものとして考えられると同時に、生産人口が減少し、益々の人口減少の時代背景から、今までどおりの介護施設に依存するには限界があるのも現実です。それらから、少しでも元気で暮らせる環境とシステムが必要であり、今後の自治体による取組が注視されるものと思います。



住み慣れた地域で安心して医療や介護を受けられる環境をつくるのが、地域包括ケアの有るべき姿ではないかと感じました。介護にあっては、「絶対に無理をしない事」が肝心であり、介護予防については課題と現状を踏まえ、その地域に適応した対応が望まれるものと思います。小野市においても、更なる適切な介護と、「快適な介護予防」を目指し取り組みたいものです。

## (3) 7月3日(水) 埼玉県熊谷市「子育て応援プロジェクトについて」

(暑さ対策日本一・日本一あつい子育て支援) [人口約20万1千人・面積159km<sup>2</sup>]



**<視察の内容と特色>** 熊谷市と言えば、40.9度の気温となった、暑さ日本一とも呼ばれる地域で、そんな暑い土地柄ではあるものの、総合計画「子育てするなら熊谷市」を策定し、子育て環境づくりを展開されています。小野市と同様の中学3年生までの医療費無償化、小学校3年生までの児童クラブ、学童クラブにおいて、適切な遊びや生活の場を提供し、放課後児童健全育成事業を展開されています。

**<所感>** 市独自の取り組み、国、県との連携によるものがありますが、熊谷市をあげての子育てしやすい環境づくりを行政の役割として、その機能を発揮されている姿勢が参考となりました。

# ぜひ、傍聴にお越しください。

## ☆9月定例会日程☆

9月定例会は、次の日程で開催いたしますので、ぜひこの機会に、議会の傍聴にお越しください。

- 8月30日(金) 午後2時～ 本会議 (第1日)
- 9月19日(木) 午前10時～ 本会議 (第2日)  
※一般質問実施
- 20日(金) 午前10時～ 本会議 (第3日)  
※一般質問実施
- 27日(金) 午後1時30分～ 本会議 (第4日)



定例会の第2日(19日)、第3日(20日)は、議員の一般質問を行います。

一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。なお、一般質問の内容は、質問が行われる日までに市議会ホームページで公開します。

傍聴の手続きは、本会議の当日に本庁舎5階の受付で傍聴者名簿に記入するだけです。

## 傍聴者の休憩室を開設します

本会議を傍聴に来られた市民のみなさんに、くつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。議場内の傍聴席が満席の場合は、この休憩室でテレビモニターによって傍聴していただきます。

休憩室の設置は、9月19日(木)と20日(金)の2日間です。部屋には、セルフサービスのお茶も用意しています。



## 託児コーナーを開設します

9月19日(木)・9月20日(金)



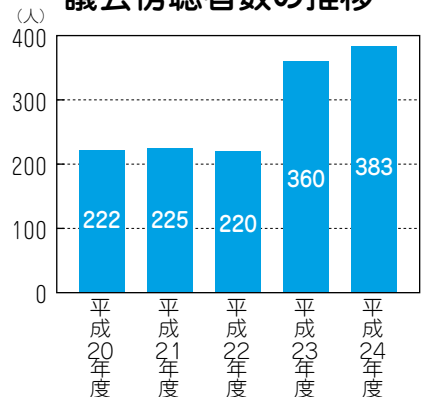
一般質問が行われる9月19日(木)、20日(金)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。就学前のお子さまをお持ちの保護者のみなさまも議会を傍聴していただくことができます。ご希望の方は、9月11日(水)までに議会事務局(電話 63-1006)にお申し込みください。

## 議場傍聴席シートをリニューアルしました

昨年実施しました議会傍聴者アンケートで、ご指摘いただいた傍聴席の快適性を高めるため、座席を改修しました。



議会傍聴者数の推移



## ◎ 議会の動き ◎

### 【5月】

- 9日 会派代表者会
  - ♪ 議員互助会役員会
  - ♪ 国道175号整備促進期成同盟会総会
- 10日 臨時本会議
  - ♪ 会派代表者会
- 14日 小野市人権教育研究協議会総会
- 18日 特別支援学校運動会
- 20日 市議会報編集委員会
  - ♪ 議員互助会役員会
- 21日 行政視察来市(石川県能美市)
- 22日 全国市議会議長会総会(東京)
- 24日 議会運営委員会
  - ♪ 議員協議会
  - ♪ 加古川改修促進期成同盟会総会
  - ♪ 東播磨南北道路建設促進期成同盟会総会
- 25日 小学校運動会
  - ♪ 小野市シルバー人材センター定期総会
  - ♪ 小野市保健衛生推進協議会
- 26日 青野原駐屯地創設37周年記念行事
- 29日 ひまわり会総会
  - ♪ 小野市防災会議・水防協議会及び国民保護協議会
- 30日 小野市遺族会総会
- 31日 6月定例会(第1日)
  - ♪ 北播政経懇話会
  - ♪ 小野市観光協会総会
  - ♪ 小野市農会長会総会

### 【6月】

- 1日 小野市詩歌文学賞・上田三四二短歌フォーラム

- 15日 関西国際大学保健医療学部看護学科開設記念シンポジウム
- 16日 小野市女性団体連絡協議会総会
- 20日 6月定例会(第2日)
  - ♪ 議会運営委員会
- 21日 6月定例会(第3日)
- 24日 小野防犯協会総会
- 25日 総務文教常任委員会
  - ♪ 民生地域常任委員会
- 27日 6月定例会(第4日)
- 29日 小野市防衛協会通常総会

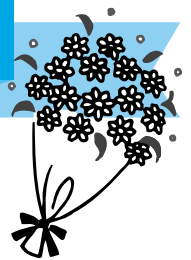
### 【7月】

- 5日 北播磨総合医療センター企業団議員総会
- 9日 民生地域常任委員会研修会
- 10日～11日 全国市議会議長会研究フォーラム(旭川市)
- 16日 東播・淡路市議会議長会定例会(洲本市)
- 17日 播磨内陸医務事業組合臨時議会(加東市)
- 18日 小野市交通安全対策委員会総会
- 19日 議会運営委員会
  - ♪ 市議会報編集委員会
  - ♪ 北播衛生事務組合議会臨時会
  - ♪ 総務文教常任委員会研修会
- 22日 全国市議会議長会地方行政委員会(東京)
- 22日～24日 総務文教常任委員会行政視察(北本市・戸田市・立川市)
- 25日 兵庫県市議会議長会総会(宝塚市)
- 26日 議員協議会
  - ♪ 北播政経懇話会
- 27日 小野市ひまわり杯少年野球大会
- 29日 行政視察来市(宮城県登米市)
- 29日～31日 民生地域常任委員会行政視察(会津若松市・三条市・見附市)

## 全国市議会議長会表彰

5月22日に開催された全国市議会議長会総会において、小野市議会の議員が全国市議会議長会会長表彰(議員10年)を受けました。

表彰を受けたのは、加島淳議員、藤本修造議員、山中修己議員の3名で、5月24日に議長室において、岡嶋議長から各議員に伝達されました。



岡嶋正昭議長

加島淳議員

藤本修造議員

山中修己副議長